

## 大椎っ子の田んぼ便り～その2:6月の草取りから9月の稲刈りまで

高崎 みどり (千葉市緑区在住)

6月17日(火)曇り 草取り

田植えから約3週間後、草取りの日です。ウグイスの鳴き声に迎えられながら田んぼに行くと、苗はしっかり根を張って、まっすぐに伸びていました。作業は、畦道や田んぼ周辺に延びてしまった雑草を、鎌(かま)で刈り取ります。苗の生長にホッとした保護者の皆さんも、田んぼにも慣れて楽しそうに作業が進みます。少し崩れてしまった畦道も整えて、作業は終わりました。このまま元気に生長してくれますように・・・。



田植えから3週間。しっかり根付いたイネ(2008.6/17)

6月28日(土)曇りのち晴れ

休みの日に苗の観察に行きました。ますます、苗はしっかり育っています。となりのY P Pさんの田んぼでは、にぎやかに田植えが行われていました。田植えのあと、毎週のように苗の観察に来ているという、お友達もいました。谷津田の自然や、田んぼ、稲の生長に興味を持ってくれたことを嬉しく思います。

7月15日(火)晴れ 草取り

二回目の草取りの日です。暑さの厳しい中、集まってくれた保護者の皆さんは、前回同様、畦道や田んぼ周辺に伸びた雑草を鎌で刈り取りました。稲はしっかり根をはって、元気に生長しています。田んぼが整ったあとは、クラスごとの田んぼにつける看板の作製をしました。各クラスで考えた楽しい名前もあり、看板をつけると田んぼが明るくなったようです。もうすぐ長い夏休み。休み中に稲はどのように生長するでしょうか。



分けつが進んでたくましく育っています(2008.7/15)



田んぼの名札づくりをしました(2008.7/15)

9月6日(土) 晴れ

田んぼに、皆さんが作った案山子(かかし)がたつたと聞き、さっそく見に行きました。どれも個性的な案山子たち。田んぼがとてもにぎやかになりました。まわりにはすでに稲刈りを終えた田んぼもあり、暑いながらも季節はもう秋です。大椎小田んぼの稲刈りは24日だそうです。待ちどおしいですね。それまでは案山子たちが、大事な稲を守ってくれますように。



個性的なかかしが勢揃い(2008.9/6)



9月24日(水) 晴れ 稲刈り

澄み切った青空の下、いよいよ稲刈りの日がやってきました。五月に田植えをしてから約四ヶ月、稲は元気に生長し、たくさんの稲穂をつけてくれました。当日は、YPPさんをはじめ、ボランティアの保護者、大学生の皆さん、校長先生、そしてマンガ家のつやま先生と多くの方々が集まってくれました。鎌(かま)の使い方を教わり、いざ刈り取りますが、スパッ!と一回で切れる子、ずるずる根元から抜けてしまう子、それじゃ足が切れちゃう!子など、見ていてハラハラしましたが、子供たちはこの貴重な体験を楽しみ、一生懸命取り組んでいました。刈り取った稲を干すために束に結び、稲穂の“もみカウント”もしました。自然観察会では、春とは違った谷津田の自然を発見できたようです。オニヤンマの産卵や、珍しいミズオオバコの花など、貴重なものも見る事ができました。すべての稲を刈り取り、稲刈りは終了です。つやま先生から、心のコもった稲からの感謝状をいただきました。子供たちが稲を学校まで運びます。稲刈りは終わりましたが、米作りはまだ途中、稲を干して、脱穀、もみすりと続きます。おいしいお米を食べるのは大変ですが、もう少し頑張りましょう。



にぎやかな稲刈りです(2008.9/24)



刈った稲はしっかりとしばって干します。



稲刈りが終わった田んぼ

谷津田いきもの図鑑 No.22

クヌギとコナラ



葉



幹



ドングリ



コナラ

クヌギ

雑木林の代表的な樹木と言えばコナラとクヌギです。樹液にカブトムシやクワガタムシが集まることでもよく知られていますね。でも、どの木がクヌギでどれがコナラかわかる人は意外と少ないようです。そこで簡単な見分け方を紹介します。

葉：スリムで細長いクヌギの葉っぱに対して、コナラは幅広。クヌギの葉の縁のギザギザ(鋸歯-きょし)は先が針のようになっています。ただ、クリも似たような葉っぱなので要注意。

樹皮：両方とも縦に不規則な割れ目ができます。割れと割れにはさまれた部分が山型にとがっているのがクヌギ、平らなのがコナラです。

ドングリ：コナラは長さが2センチ前後の細長い普通のドングリの形ですが、クヌギは直径2センチくらいの丸いドングリです。写真のように帽子の形もずいぶん違いますね。

葉を落とした冬場の見分けが難しいのですが、樹皮の特徴や木のまわりの落ち葉を見ればわかるでしょう。ぜひ挑戦してみてください。

コナラもクヌギもかつては炭づくりや薪、シイタケを植える原木として盛んに利用されていました。落ち葉はたい肥にして田んぼの肥料としても使われてきました。また、建築材や家具などの材料としても広く活用されていました。こうした利用がなくなるにつれて雑木林は荒れて、笹やぶや竹やぶになっているところがほとんどです。トウキョウサンショウウオやアズマヒキガエルなど谷津と林の両方を生活の場としている生きものにとって雑木林が荒れることは生息に大きな影響があります。

(高山邦明)



## 里山たんけんレポート

### 第 104 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2008 年 9 月 7 日(日) 晴れ

谷津にはモズの高鳴きが響きわたっていました。林縁はオニヤンマが縄張りをパトロールしていましたが、今年は例年よりたくさん飛び回っているように感じました。マユタテアカネはお腹が真っ赤になりました。畦や湿地にはハッカヤカントウヨメナが咲いています。田の中ではトチカガミが咲き、メダカやタモロコが群れて泳いでいました。林内ではミドリヒョウモンが木々の幹を巡っていました。ヒョウモンチョウの仲間はスミレが食草ですから何をしていたのでしょうか。クヌギ酒場は寂しくなって、カブトムシ、カナブン、キマワリが一匹ずついました。ヤブラン、ヌスビトハギが咲き、テングタケなどキノコの仲間がたくさん出ていて楽しめました。初秋の谷津を満喫した散策でした。

(参加者 大人 4 名・子ども 1 名; 報告: 網代春男)

### 第 89 回 下大和田 YPP「みんなでサクサク、コシヒカリの稲刈り」

2008 年 9 月 21 日(日) くもり/雨

台風が前日に通過してくれてひと安心。大勢の顔なじみの方に加えて、稲刈りははじめての方も集まり、にぎやかに稲刈りをしました。慣れた方が多かったのでオダづくりと稲刈り、刈った稲を結わえる作業がスムーズに進みます。初めての方も最初はなかなかうまく切れなくて力が入っている様子でしたが、コツがわかるとサクッ、サクッと軽やかな音に顔がほころんできます。いつもは午前中にコシヒカリ田んぼを刈るのが精一杯なのですが、今回は昼前にカヤネズミ田んぼに取りかかることができました。今年の出来は？と言うと、例年よりも分けつが少なく、株が軽く、オダがスカスカでなかなか埋まりません。初夏の日照不足の影響のようです。カヤネズミの巣が見つからなかったのは稲の生育が悪かったせいでしょうか？コシヒカリを刈り終えたので、マイ田んぼの農林 1 号を刈り始めるとポツポツと雨が背中にあたりはじめ、間もなく大粒の雨が激しく降ってきたのでそこで中止にしました。あともう少しだったのに残念でした。田植えに続いて、文科省のこども放送局の取材があり、子どもたちがレポーターとして活躍してくれました。



最後は雨になってしまいましたが刈り終えてみんな満足顔です

最後は雨になってしまいましたが刈り終えてみんな満足顔です

(参加者 大人 26 名、子ども 7 名、幼児 4 名 報告: 高山邦明)

### 第 37 回 小山町 YPP「コシヒカリの稲刈り」

2008 年 9 月 23 日(火・祝) 晴れ

地元の方が今年から米づくりをやめることを聞いて急遽、有志で田植えをした田んぼにコシヒカリがしっかり実ってくれました。その稲刈りに親子連れをはじめとたくさんの方が集まってにぎやかに稲刈りをしました。はじめての人は刈り方を教わって最初はおそるおそるスタート。最初は力ばかり入ってなかなか刈れないことに首をかしげていましたが、コツがわかってくると、サクッ、サクッと気持ちよい音を立ててどんどん刈り進んでいきます。子どもたちも「おもしろい！」と鎌の順番が待ちきれない様子でした。稲をかけるオダは地元の方に作り方を教えていただきました。ワラを簡単に使って竹をうまく組む方法はとても驚きました。稲刈りは予想していたよりもすごい速さで進んで、最後はオダが一杯になってしまい、そこまでで今日の作業を終えることにしました。刈り終わった田んぼでは小さなアカガエルがピョンピョンはね、トンボが産卵していました。米づくりを続けることでたくさんの命を育むことができ本当に良かったです。皆さん、お疲れ様でした。



稲刈りが終わった田んぼ

(参加者 大人 9 名、小学生 5 名; 報告: 高山邦明)

## <谷津田・季節のたより>

### 小山町

- 9月13日 ゲンノショウコ、ヤマホトトギス、タケニグサなどが次々と開花。地元の方の田んぼは稲刈りが終わる(高山)。  
9月23日 水路脇の金網にノスリがじっと止まっていた(松下)  
10月1日 セイタカアワダチソウが咲き始める(齊藤)

### 下大和田

- 9月21日 モズがしきりにさえずる。緑米が一斉に開花し、赤米の穂がきれい。刈っているコシヒカリのあちこちにナガコガネグモの卵のうがあった(高山)



出穂した緑米の田んぼを見下ろすノシメトンボ(小山にて2008.9/23, 高山)

## イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

### 第90回 下大和田 YPP「みんなでサクサク! 古代米の稲刈り」

今年最後の田んぼの作業は古代米の稲刈りです。年末のお楽しみのもちつきのためににぎやかに稲刈りをしましょう。

日時: 2008年11月2日(日) 10:00~14:00 \*小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンストップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行き)のちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円)

持ち物: 帽子、長靴(長めがいいです)、軍手、弁当、飲み物、敷物など。

参加費: 300円(資料代など)

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

### 第38回 小山町 YPP「古代米の稲刈り」

YPP 田んぼ3年めの今年も古代米(緑米と黒米)が立派に育ってくれました。大人も子どももみんなでわいわい稲刈りを楽しみましょう。

日時: 2008年10月26日(日) 10:00~12:30 \*小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 帽子、長靴(長めがいいです)、軍手、飲み物、敷物など

参加費: 100円(資料代など)

主催: ちば環境情報センター

### 第106回 下大和田 11月の谷津田観察会とごみ拾い

草や木は実りの季節、アオジなどの冬鳥も姿を見せる頃です。深まった秋の谷津を散策します。

日時: 2008年11月2日(日) 観察10~12時 午後は田んぼの作業など自由活動\*小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(下大和田 YPP に同じ)

集合: 下大和田 YPP に同じ

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 300円(資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

**編集後記** 下大和田も小山もコシヒカリの稲刈りが終わりました。小山では地元の方が今年から米づくりをおやめになった田んぼでコシヒカリを育てました。少ない常連メンバーで8畝もの田んぼは大変なので、田起こしできる範囲で・・・、植えられるところまで・・・、刈れる分だけ・・・と言いながら結局全部の田んぼで収穫しました。刈り終わった田んぼは手入れが行き届かなかったので草ぼうぼうですが、その間でアカガエルが元気にはね、トンボが産卵している様子を見ると米づくりをして良かったと感じます。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。来年はどうなるかわかりませんが、無理のない範囲で続けられたらと思います。

(高山邦明)